



第2回紀の川市ワークショップの開催について

【資料4】

日時：平成29年5月28日（日） 午後1:30～（2時間程度）
場所：市役所本庁7階ラウンジ
申込み：5月12日までにメールまたはお電話で（下記の担当まで）

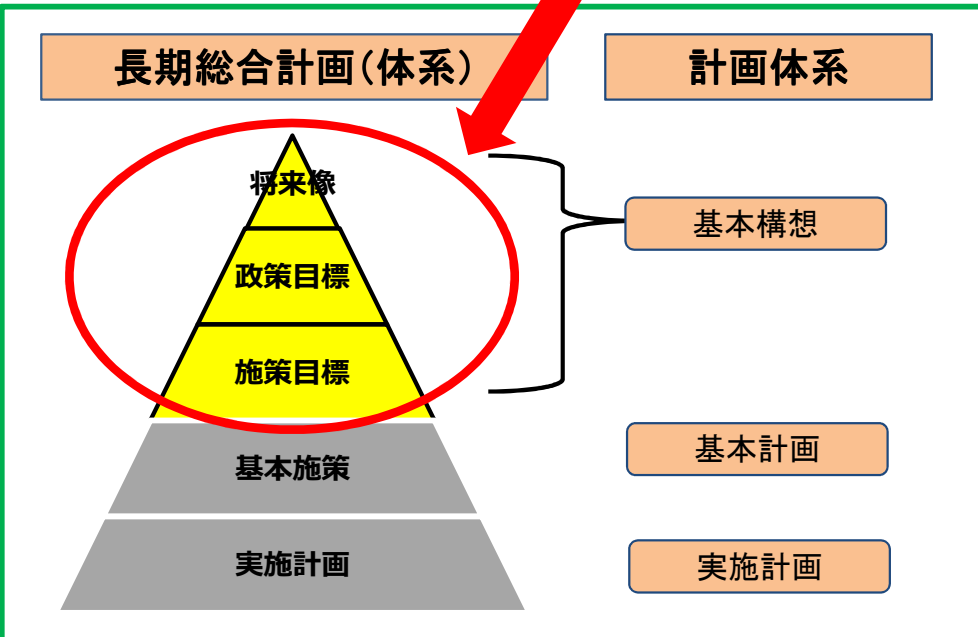
前回、お世話になりました市民ワールドカフェ、第1回ワークショップに引き続き、市の最上位計画である長期総合計画の策定に参画をお願いします！



今回のワークショップも、高校生が参加してくれます！

かた苦しい会議ではなく、カフェのようにリラックスした中で、お茶をしながら紀の川市の未来について語り合ってください！
 5～6人単位のグループでテーマに沿って話し合ってください。例えば、「紀の川市の現状、強み・弱み」から導き出される「10年後の紀の川市の姿」について、多くのアイデアやキーワードから具体的なフレーズを検討いただき、その結果を可能な限り新しい長期総合計画に反映します。

ワークショップでは基本構想部分（将来像、政策目標、施策目標）に関する話し合いを実施していただきたいと考えています。



■ 申込み等に関するお問合せ
 企画調整課 東（直通：77-2526、代表：77-2511）
 e-mail k030600-001@city.kinokawa.lg.jp



紀の川市長期総合計画の策定について

【長期総合計画とは】

長期総合計画は、紀の川市の総合的かつ計画的な行政運営の指針やまちづくりの長期的な展望を市民の皆さまにお示しするものであり、紀の川市の最上位計画として位置付けられています。

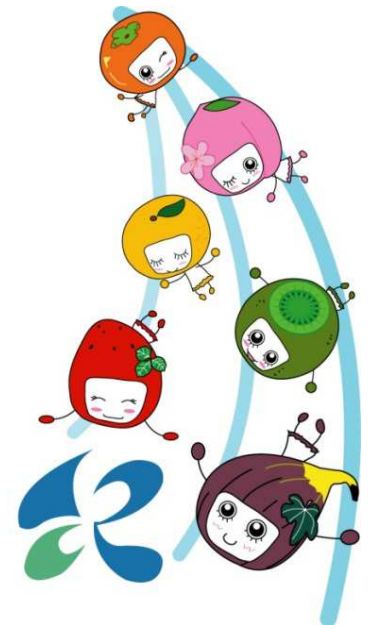
現行の第1次長期総合計画の計画期間が平成29年度で満了するため、平成28年度から平成29年度の2カ年で新たな長期総合計画の策定を予定しています。

【市民の皆さまと共につくる総合計画を目指して】

新たな長期総合計画の策定には、紀の川市の魅力や課題を明らかにし、その向上や改善を市民の皆さまと一緒に推進する必要があります。

そのためには、多くの皆さまのご意見をいただくことが、重要と考えています。

そこで、「**紀の川市の未来**」を語り合う場として「**紀の川市ワークショップ**」を開催します。



多くの皆様のご意見を新たな長期総合計画の策定に反映させるため取り組み

➤ 目的

- 新たな総合計画の基本構想部分については、10年後の目指すべき市の将来像やまちづくりの目標から構成され、市民の皆さまと一緒に推進する必要がありますので、**多くの市民の皆さまの意見を反映させたいという思いから、将来像などのキーワードを検討する市民ワークショップに携わっていただきたい。**

➤ 内容

- 市民意識調査や小中学生アンケートの結果、さらに11月と3月に実施しました「紀の川市ワールドカフェ、ワークショップ」の結果から抽出された、「**紀の川市の強み・弱み**」や「**10年後の紀の川市の姿**」についての**多くのアイデアやキーワードを共有していただく。**
- アンケートなどで抽出された意見確認をはじめ、紀の川市での生活（通勤、通学）を通じた様々な視点から紀の川市の魅力を洗い出し、**新たな長期総合計画の基本構想に反映すべき「市の将来像」、「まちづくりの目標」等について議論**いただく。（イメージは次ページを参照ください。）

紀の川市を知ってもらう段階

政策立案に参画してもらえれば・・・

長期総合計画策定に係る紀の川市ワールドカフェ（H28.11）、ワークショップ（H29.3）の様子



5月28日（日）開催：第2回市民ワークショップの流れ（案）

市民ワールドカフェやワークショップ等でいただいたご意見をもとに「政策分野ごとに」①優先的に取り組むべきこと②理想とするまちの姿③実現するためにできることについて、話し合っています。

政策分野ごとにワールドカフェ、ワークショップの意見を参考

第1ラウンド

政策分野ごとに優先的に取り組むことの検討

第2ラウンド

政策分野ごとに理想とするまちの姿を検討

第3ラウンド

実現するための役割分担（市民、行政）

第4ラウンド

話し合った内容を整理

発表

長期総合計画（基本構想）における検討予定箇所（現行計画から抜粋）

第4章 基本構想の概要

（1）紀の川市の将来像

本市は、長年にわたって各地域で培われてきた自然環境、伝統、文化、そして産業といった地域固有の資源が多数あり、合併により一層充実した豊富な魅力ある資源を有することになりました。さらに、それらの貴重な地域資源を培ってきた人と人、人と地域の多様な出会いが生まれ、新たな交流の輪が広がりつつあります。

本市の恵まれた自然環境や文化資源を通じて、人と人とのつながりを大切にしながら、誰もが安心して夢や生きがいを持ちながら、いきいきと暮らし続けられるような都市を目指すとともに、市民と行政が互いに連携し、地域のことは地域で考えるという基本姿勢にたった力強い地域力に
都市の将来像を次のとおり定めます。

第1回ワークショップ

紀の川市の都市の将来像

『いきいきと 力をあわせたまちづくり 夢 あふれる 紀の川市』

市民ワークショップを開催し

- ◆「紀の川市の将来像」に関するキーフレーズ
- ◆「政策目標」に関するキーフレーズ
- ◆「施策目標」に関するキーフレーズ

について検討いただきたいと考えています。

（5）計画の体系

政策目標と施策目標

本市の将来像『いきいきと 力をあわせたまちづくり 夢 あふれる 紀の川市』の実現に向け、次の5つの政策目標のもとにまちづくりを推進します。

第2回ワークショップ

◆政策目標1◆

【協働】

ともに参加し行動するまち

～みんなで力を合わせよう～

少子高齢化や核家族化の進行、女性の社会進出や個人の価値観の多様化などにより、人と地域のつながり、人と人とのつながりが希薄化し、帰属意識も弱まりつつあります。

そのような中で今後、市民と市、地域同士が相互に連携し、ともに行動することが新しいまちづくりを進める上で重要になってきます。

また、阪神・淡路大震災以降頻発する地震や近年多く発生している集中豪雨による水害などの自然災害、子どもや高齢者などを狙って顕発する犯罪に対して、地域力の有効性が損傷されているところます。

そのため、地域や世代を超えた市民交流を支援・促進し、互いの顔の見える地域コミュニティを再構築し、市民が主体的に地域活動やまちづくり活動に参加する仕組みを構築し、ともに行動しているまちを目指します。

第3回ワークショップ

施策目標

1. 市民と市が力をあわせたまちづくりや市民主体の活動と交流を行っている
《協働・市民交流》
2. だれもが災害や犯罪の不安がなく、協力し合って安全に安心して暮らしている
《防災・防犯》

5月31日（水）開催予定：策定作業班ワークショップの流れ（案）

市民ワークショップで検討された政策分野ごとの「理想とするまちの姿」を表すフレーズから、①市を取り巻く社会環境の整理をしたうえで②将来像を実現するための取り組みの方向性として、まちづくりの目標（政策目標、施策目標）を検討します。さらに、③取り組みの方向性（政策レベル、施策レベル）の関係を整理し、計画体系を検討します。

